

(様式1)

## 平成20年度「福井新元気宣言」推進に係る施策の実施結果 (平成21年3月末現在)

「福井新元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成20年4月に掲げた施策・事業の実施結果について、次のとおり報告します。

平成21年3月

会 計 管 理 者 今 富 廣 子

### I 総括コメント

#### 1 会計の適正かつ効率的な管理・審査

- ・ 支払関係書類の審査に当たっては、法令または予算に違反していないか、債務の金額が確定し支払時期が到来しているか、必要書類が整備されているかなどについて、厳正に確認を行いました。特に、契約の競争性を高め公正性を確保するため、本庁における特命随意契約に係る支出負担行為の会計局への合議対象を拡大したほか、消耗品、印刷物等の支出命令の審査に当たっては、現物確認を行うことにしました。今後も、厳正な審査に努めていきます。
- ・ 会計事務職員の資質向上のため、会計事務職員を対象とした研修会に加え、新たにサポート研修を実施しました。また、出先機関に対する会計事務の調査指導を新たに実施するなど、出先機関におけるチェック機能の強化と適正な会計事務処理を徹底しました。今後さらに、研修内容の充実や出先機関への指導を充実することにより、会計事務の適正化を進めていきます。
- ・ 歳計現金については、各部局との連携により資金計画の精度を高め、きめ細やかな運用に努めました。また、基金については、運用期間および運用金額等を基金所管課との協議により精査し、効率的な運用に努めました。厳しい金融情勢の中で、今後とも、できる限りの確な公金の運用を行います。

### II 「政策合意」項目に係る結果について

- ・別紙「平成20年度 施策項目に係る実施結果報告(会計局)」のとおり

## 平成20年度 施策項目に係る実施結果報告(会計局)

(平成21年3月末現在)

## 【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標達成にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	会計管理者	氏名	今 富 廣 子
項 目		実 施 結 果	
◇ 会計の適正かつ効率的な管理・審査 支払関係書類の審査に当たっては、常に県民の目線に立ち、契約方法、業務の履行確認など、関係法令等に照らし適正かどうか厳正に確認します。		〔成果等〕 引き続き実施します。 審査に当たり、法令または予算に違反していないか、債務の金額が確定し、支払時期が到来しているか、必要書類が整備されているかなどについて、厳正に確認を行いました。 特に、契約の競争性を高め公正性を確保する観点から、特定の業者と契約する特命随意契約に係る支出負担行為については、9月から会計局への合議案件として、契約方法の妥当性について審査しました。 また、消耗品、印刷物等の支出命令書の審査に当たっては、一層の適正な執行を確保するため、12月から抽出のうえ現物を確認することにしました。 なお、支払関係書類の審査を通じて会計事務担当者に指摘、指導した事項を類型化し、書類作成上同じ誤りがないよう、12月と3月に各所属に通知しました。	
会計事務職員の資質向上と出先機関のチェック機能を強化するため、職員に対する研修内容のさらなる充実を図ります。また、適正な会計事務処理が行われるよう、出先機関の調査指導を強化します。		〔成果等〕 引き続き実施します。 会計事務職員の資質向上と会計事務処理の効率化を図るため、会計制度に関する研修会のほか、会計局職員が出向いて個別の質問に答える実践的なサポート研修を新たに実施しました。 また、出先機関に対する従来からの検査に加え、新たに会計事務のきめ細やかな調査指導を実施し、チェック機能の強化と会計事務処理能力の向上に努めました。  〔開催状況〕 会計研修受講者 687名 サポート研修受講者 33名(7会場) 調査指導 30出先機関	
収支状況および残高を的確に把握するため、資金計画の精度を高め、資金の適切な運用を図ります。また、基金については、元本の安全性を確保しつつ、より効率的な運用に努めます。		〔成果等〕 引き続き実施します。 歳計現金については、各部局との緊密な連携により、収支状況を的確に把握しより正確な資金管理に努め、運用期間の長期化ときめ細やかな運用を図りました。 また、基金については、運用金額、運用期間等について基金所管課と十分協議することにより、基金総額の減少に伴う金利減収を極力カバーするとともに、一元管理によるスケールメリットを生かして効率的運用に努めました。  〔平成20年度運用実績〕 歳計現金運用利息 125百万円 基金運用利息 394百万円	